

令和5年度 TAM ランド打出浜なぎさ園 自己評価

保育所保育指針において、保育士及び保育所の自己評価並びにその公表が努力義務とされています。
そのことを踏まえ、TAM ランド打出浜なぎさ園では保育の質の向上を図る為自己評価を実地しました。
評価の結果を踏まえ、次年度の改善に生かしていきます。

評価について 評価をするにあたっては、以下の基準で評価を行っています。

◎ →よくできている ○ →ほぼ出来ている △ →努力が必要

評価対象期間 令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月 31日

	評価	評価の根拠・改善内容
1. 保育理念		
保育理念・保育目標を理解し正しく説明することができる	◎	園内研修、法人の研修で保育理念や保育目標を話す機会が設けられている。
園目標や方針が保護者に知らされている	◎	発表会や発表会後の進級についての説明会や、新入園児説明会の時に、知らせることができている。
2. 保育計画		
保育計画を作成し、見通しを持った保育を実施している	○	
年間計画・年間行事の見直しをしている	◎	行事はその度に職員間で話し合っている。年間計画では年度初めにミーティングを設け、その年に合った年間計画を話し合っている。
3. 人権尊重		
子どもの人権が尊重され、大切にされていると感じる	△	社員は会社の人権研修の予定があったが、園内ではしっかりとやる機会がなかったため、来年度は全国保育士会の資料を使用し、人権研修を園内でも行っていきたい。
4. 個人情報保護		
個人情報の取り扱いについて、入園時等で説明されている	◎	新入園児説明会で毎回しっかりしている。途中入所の方は、都度行っている。
業務上で知り得た子どもの情報に関する守秘義務について全職員で周知している	○	全スタッフが周知することは難しいので、しっかりとしたミーティングノートを作成し、誰もが観覧できる場所へ掲示できるようにしていきたい。

保護者からの相談内容について全職員で周知している	○	ミーティングの頻度を決め、記録をしっかりと取って、短時間のパートの保育士にもしっかりと共有をしていく。
5. 保育内容		
遊びに入れない子どもや全体の様子に気を配っている	◎	
子どもが伸び伸びと思いを表現できるような保育が行われている	◎	一人一人思いを受け止め、丁寧に保育をしている。
遊びを通して、友達や保育士とのかかわりが十分持てるよう配慮されている	○	年齢的に一人遊びが主流となってしまう乳児ばかりがいる園なので、保育士を通しての関わりが増えてしまう。
遊びや生活を通して人間関係が育つような配慮をしている	◎	
身近な自然や社会と関われるような取り組みがなされている	○	自然が多い近隣なので、天気の良い日は毎日戸外へ出かけている。コロナ禍だったので、周りとの連携を取る機会が減ったままとなっている。
園の行事や保育の内容が知らされている	◎	年間行事予定を年度初めに配布している。
6. 保育環境		
園以外が清潔で心地よい空間となっている	◎	
年齢に応じた保育が提供できるような環境になっている	○	合同保育時など、どうしても小さい子どもに合わせての遊びの提供となってしまう。
子どもが落ち着いて過ごせるよう、保育室の雰囲気・おもちゃが工夫されている	◎	子どもが自ら好きな玩具を選び、手に取ることができるような環境を設定している。
7. 支援を要する子どもへの対応		
配慮が必要な子どもの対応がされている	◎	毎日の生活のルーティーン化や、玩具の直す場所に写真を貼ったりと、視覚的な配慮も行っている。
8. 保護者支援		
意見や要望への対応ができています	◎	行事ごとにアンケートを取っている。また、お迎え時など、日々の何気ない会話から、意見や要望があれば、

		施設長に報告をし、対応できるところはしている。
職員が子育て等について話しやすい雰囲気や態度で接している	◎	何気ない会話なども繰り広げ、笑顔で話しやすい雰囲気作りをしている。
9. 安全対策・健康管理		
保育中、体調への気配りや怪我等に対しての配慮がされている	◎	定期的に体温を測ったり、怪我記録簿や、ヒヤリハットの記録もしっかりとつけている。
感染症の発生状況や注意事項等が知らされている	◎	コドモンの一斉送信で、発生状況や注意喚起を行っている。
子どもの成長を把握している	◎	毎月の身体測定、年2回の内科検診、年1回の歯科検診、年1回の尿検査を行っている。
不審者対策を行っている	◎	年2回、避難訓練の中で不審者訓練を行っている。
10. 食育		
給食が楽しく食べられるよう工夫されている	◎	
食育を通して子どもたちが食に興味を持てるようにしている	◎	
子どものサインを見逃さないようにしている	◎	
アレルギー除去食の対応をしている	◎	
衛生管理の徹底をしている	◎	毎日こまめに玩具の消毒や、主に触れる扉などの消毒を行っている。
11. 地域支援		
地域との関係が適切に保たれている	○	コロナ禍で関係を作る機会の習慣がなく、関係を広げることの難しさを感じている。
12. 職員育成		
研修会等職員としての質の向上に努めている	△	コロナ禍が明けたばかりで外部研修の段取りがされていなかった。

園全体の評価

子どもや保護者が安心して園に通うことができるように心がけることができた。
隔週で来る職員に対して、職員全体に周知することが難しい場面もあった。
コロナ禍が明け、急には職員の研修を整えることが難しかった。

来年度の課題

内部研修、外部研修共に、充実した研修にするために計画を立てて、実施していきたい。
会議の議事録や周知の仕方に工夫をし、職員全体に園のことが周知できるようにしていきたい。